

—河北町東福田で出土—

板碑群調査報告

宮城県桃生郡河北地区教育委員会

昭和五十七年五月

再 版 の 序

桃生郡河北地区教育委員会

教育長 千葉和音

昭和五十七年 河北町東福田にて発見、発掘調査された大量の板碑群は、中世の北上川文化圏のありかたを解き明かす重要な手がかりをもたらしました。

この後、北上川流域の当地区の处处から発見されている板碑と共に、一枚一枚に刻まれた文字から当時の地域の様子が解明され始めています。

伝統と文化をみなおし「心豊かなふるさとづくり」を目指そうとする郷土の歴史に関心をもつ人々の強い要望にこたえ、このたび復刻版を発行するに至りました。

この書が、今後更に広く活用されることを期待しております。

序

桃生郡河北地区教育委員会

教育長 千葉和音

「古きをたずねて新しきを知る」という言葉があります。先人の歩んだ足跡、先人の精魂に触れ、息吹きに接することにより、新しい精神文化を生み出すことはいつの時代でも大切なことであります。そこに地域の、また国家社会の進展がみられるわけです。

このたび河北町東福田に大量の板碑群が発見されたことは、北上川流域に位置する当地区の古代文化の性格を解き明かす上で極めて貴重な文化遺産が得られたものと喜びにたえません。幸いにも河北地区文化財保護委員長紫桃正隆氏並びに委員の諸氏に調査をお引き受けいただき、その献身的な御努力により予定通り終了することができました。広く御活用いただければ望外の幸せに存じます。この調査をまとめるにあたり御援助くださった関係機関の方々をはじめ、現場作業に御協力くださつた地主の山口栄記氏の御労苦に対し心から感謝を申し上げる次第です。

一、調査主体

二、調査担当者

宮城県桃生郡河北地区教育委員会、同文化財保護委員会

調査責任者

紫 桃 正 隆 (同文化財保護委員長)

調査協力員

高 橋 精 一 (石巻郷土研究会副会長)

調査員

狩 野 善 夫 (同文化財保護委員)

佐 藤 勝 市 (同教委社教主事)

安 原 星 夫 (同教委社教指導員)

鈴 木 郁 夫 (河北地区教委社教主事)

鶴 田 重 善 (鳴 潤 町)

三、期間

昭和五十七年三月十日～五月十日

四、所在地

宮城県桃生郡河北町東福田字馬場二八

五、地主

右 同 人

六、調査の経緯と概要

昭和五十七年二月末、地主・山口氏宅では宅地造成のため裏の段丘（畠）をブルドーザーで削平した所、山際部より大量の石碑が出土したということと、地区教委に調査の依頼要請があった。地区教委では直ちに県教委文化財保護課に連絡し、その指示により同地区文化財保護委員会を中心にして調査活動が始められた。

現地は上品山系の北部山麓に位置する東福田部落のうちでも山間の最奥に当たる所で、屋敷地と裏手（東側）の山裾の間、約三十米の所が造成され、その山際の所より集団となつた板碑が掘り出された。当地方の上品山（じょうほんさん）は古来より仏教の聖地として知られ、板碑の分布は南の石巻市福井盆地にも、北の河北町二俣地区にも広く見られる。中でも北境・倉迫部落には題目碑を主体とする板碑群が見られるなど、その造立・分布は決して珍しいことではない。しかし、現地からは二基ほどその頭部の露出が見られたとする証言があつたものの、かかる大量の板碑が埋蔵されたことは記録にもなく、部落の古老の伝えにもなかつた。

現地は谷の流出口に当たる関係でちょっとした扇状地形となる。おそらくは古い時代（江戸時代以前か？）に谷の土砂が流出し、板碑群は埋没したと考えられるが、それも長期にわたる堆積ではなく、突發的土砂崩れによる埋没と推定される。何故ならば第一に発掘時における碑群の状態は倒伏もなく整然と並んでいたというし、第二に頬文・銘文などの文字の金箔が完全な色彩で保存され、発掘後の数日の雨で箔が流れ壯麗さを失ってしまったなどは、突發的変事を裏づける例証となる。

尚、現地には近世碑が一基も発見できないことは、或る時期を境に地勢が一変し、仏教的・民間行事的聖地としての機能を失つたと見るべきであろう。逆説的にはその埋没の年代が近世以前と推定される所以である。

「板碑とは」

鎌倉・室町時代に死者の追善供養などのために建てた平たい石の卒塔婆（そとば）。上部に仏の種子（しゅじ）または仏像などを彫り、その下に建設趣旨・氏名などを刻む。関東に多い。

——「広辞林」——

東福田の現地より発掘された板碑数は六十六基に及んだ。但し、機械動力に頼ったため碑の破却、破損が著しく、三割以上が断碑となってしまったのが惜しまれる。

その個々についての調査結果は各論で述べ、更に後章では当地板碑の所見・特長などまとめて見たいと思う。

造立の年代は南北朝中期（一三六〇頃）より室町中期（一四六〇頃）にかけての約百年間に限られるのが一つの特長と言える。「いしぶみ文化」は権者の文化・権者の威と評されるように、この時代の当地には強大な力を誇った中世豪族、在地権力者があるいはすぐれた宗教指導者が来住したのは確かであろう。

「東福田」という農耕地の地名、そして小字「馬場」という地名からしても武家集団の存在が想像できる。



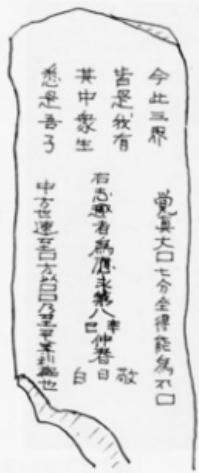
▲発掘当時の現地



▲修復、再建された碑群

(写真提供 石巻日日新聞社)

No. 2



種子

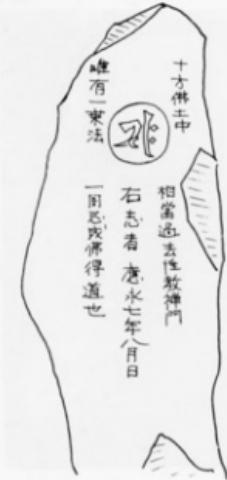
年号 応永8年 1401 室町初期

偈 法華經營論品

その他

H : 131cm W : 31cm T : 8cm

No. 4



種子 ピサク 势至菩薩

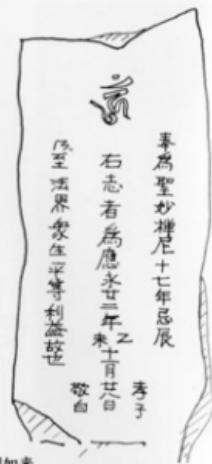
年号 応永7年 1400 室町初期

偈 法華經方便品

その他

H : 107cm W : 31cm T : 5cm

No. 1



種子 ピクーン 阿闍梨末

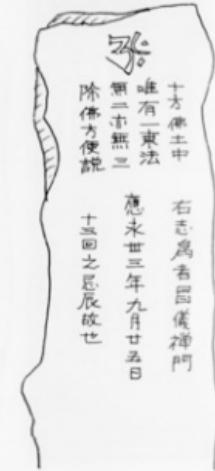
年号 応永22年 1415 室町初期

偈

その他 奉為(おおんため) No.14に33回忌が見える

H : 122cm W : 40cm T : 6cm

No. 3



種子 ピクラーク 虛空藏菩薩

年号 応永33年 1426 室町初期

偈 法華經方便品

その他 No.13 17回忌碑と同一人である

H : 137cm W : 36cm T : 8cm

No.6



種子 サ 観音菩薩

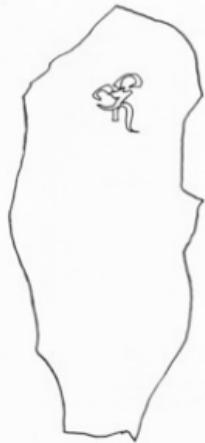
年号 応仁元年 1467 室町中期

偶

その他

H : 81cm W : 27cm T : 4cm

No.5



種子 ベイ 薬師如来

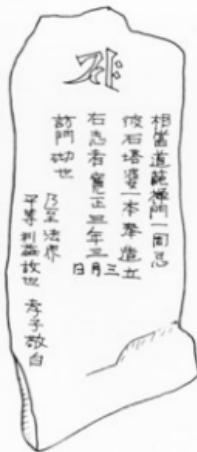
年号

偶

その他 銘記なし

H : 80cm W : 28cm T : 4cm

No.8



種子 サク 勢至菩薩

年号 寛正3年 1462 室町中期

偶

その他

H : 71cm W : 24cm T : 7cm

No.7



種子 キリーク 阿弥陀如来

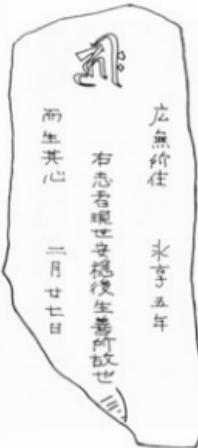
年号 康応2年 1390 南北朝末期

偶

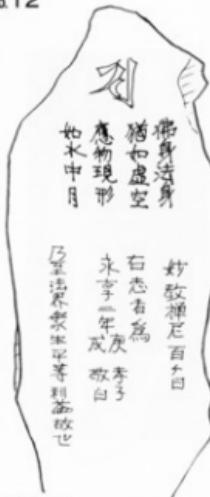
その他 断碑の上部

H : 70cm W : 30cm T : 7cm

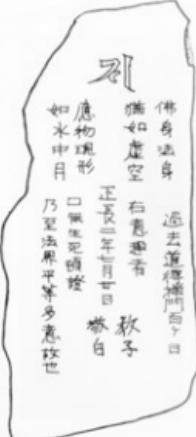
No. 10



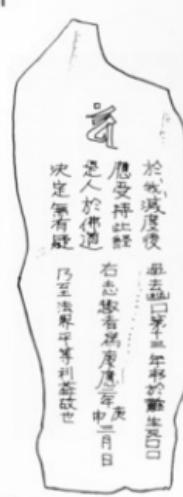
No. 12



No. 9

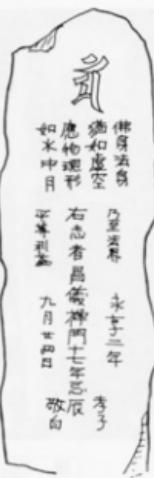
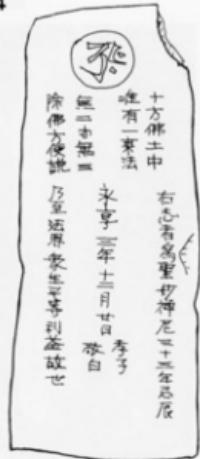


No. 11



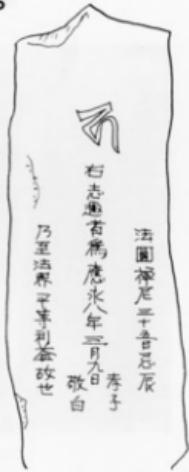
No.14

No.13



No.16

No.15



No.18



種子

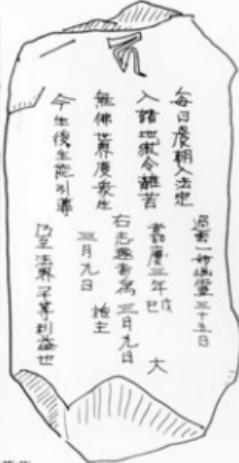
年号

偶

その他 断碑の下部

H : 60cm W : 40cm T : 4.5cm

No.17



種子

年号

偶

その他 断碑の下部

種子

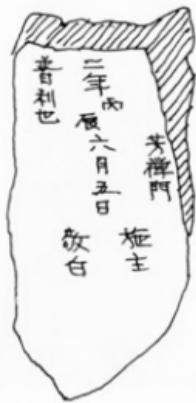
年号 嘉慶3年 1389(康応元年) 南北朝末期

偶

その他 嘉慶3年乙巳のあやまりか?

H : 90cm W : 33cm T : 7cm

No.20



種子

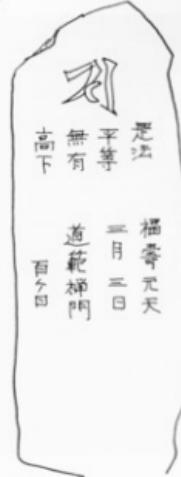
年号 丙午は応永33年か?

偶

その他 断碑の下部

H : 62cm W : 28cm T : 3cm

No.19



種子

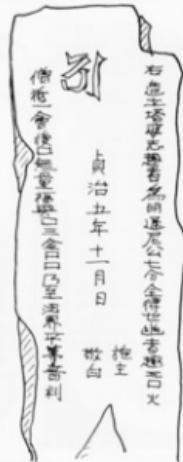
年号 福壽元年

偶

その他 福壽は私年号か?

H : 76cm W : 19cm T : 6cm

No.22

種子 子 胎藏界大日如來

年号 貞治5年 1366 南北朝中期

偶

その他 明通尼公の逆修碑 尼公は高貴な身分の尊号

H : 154cm W : 36cm T : 5cm

No.24

種子 子 大日如來

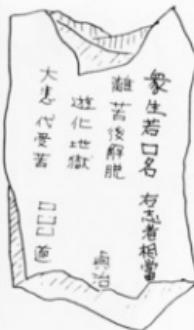
年号 延文6年 1361(康安元年) 南北朝中期

偶

その他 断碑の上部

H : 60cm W : 37cm T : 3cm

No.21

種子 子

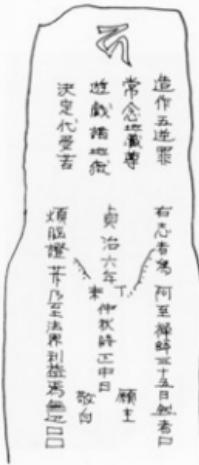
年号 貞治 南北朝中期

偶

その他 断碑の上部

H : 70cm W : 42cm T : 5cm

No.23

種子 子 地藏菩薩

年号 貞治6年 1367 南北朝中期

偶

その他 時正(彼岸中日) 菩提

H : 137cm W : 37cm T : 3cm

No.26

種子 **アサ** 観音菩薩

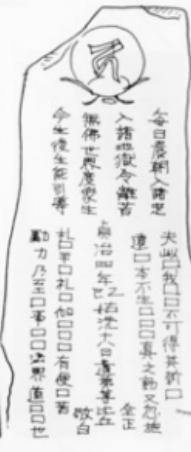
年号 康暦2年 1380 南北朝末期

偈

その他

H : 240cm W : 70cm T : 7cm

No.25

種子 **アカ** 地藏菩薩

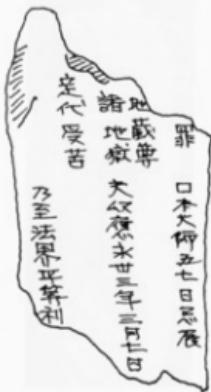
年号 貞治4年 1365 南北朝中期

偈 仏説延命地藏菩薩經

その他 種子の下に蓮座 姑洗(3月)

H : 206cm W : 55cm T : 6cm

No.28



種子

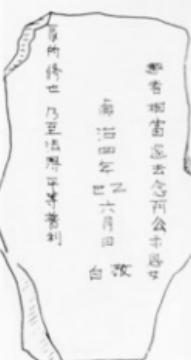
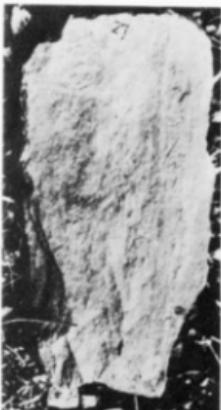
年号 応永33年 1426 室町初期

偈

その他 断碑の中部

H : 59cm W : 30cm T : 4cm

No.27



種子

年号 貞治4年 1365 南北朝中期

偈

その他 断碑の下部

H : 62cm W : 35cm T : 4cm

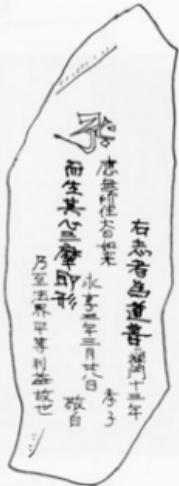
No. 30



種子	ホタラク	虚空藏菩薩
年号	永享3年	1431 室町初期
偶	金剛般若經(上部)	
その他		

H : 96cm W : 30cm T : 8cm

H : 96cm W : 30cm T : 8 cm



No.32



種子
年号
偶
その他 断碑の下部 №36と一对になる
H : 29cm W : 33cm T : 8cm



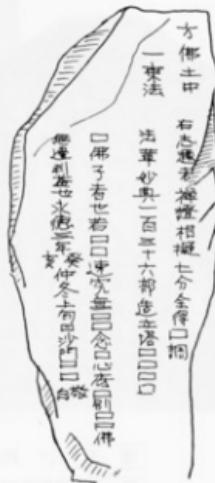
No.29



種子	
年号	永徳3年 1383 南北朝末期
偶	法華經方便品
その他	断碑の下部 逆修碑

H:135cm W:42cm T:6cm

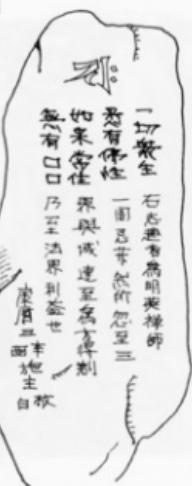
H : 135cm W : 42cm T : 6 cm



No.3 |



種子 木サク 勢至菩薩
年号 康暦3年 1381(永徳元年) 南北朝末期
備
その他 菩提
H:147cm W:39cm T:7cm



No.34



種子 仏カ 地藏菩薩

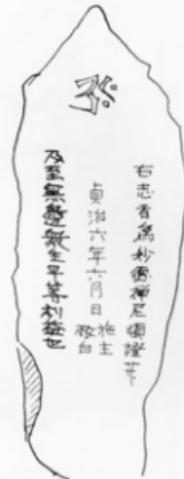
年号

偈

その他 断碑の上部

H : 27cm W : 40cm T : 5cm

No.33



右志者島妙徳寺御塔
貞治六年六月日 改白
及至法界平等利益故也

右志者島妙徳寺御塔
貞治六年六月日 改白

種子 仏タラーク 虚空藏菩薩

年号 貞治6年 1367 南北朝中期

偈

その他 菩(菩提)

H : 105cm W : 29cm T : 3cm

No.36



種子 仏タラーク 虚空藏菩薩

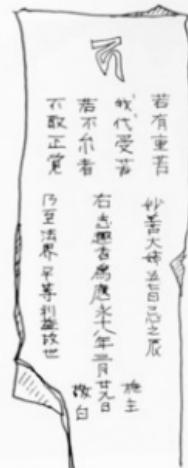
年号 応永

偈 法華經譬論品

その他 断碑の上部 No.32と一对となる 33回忌供養碑 灵(靈)

H : 93cm W : 31cm T : 9cm

No.35



若有重舌
妙代受苦
若不尔者
右志者島應永八年三月廿九日
及至法界平等利益故也

右志者島應永八年三月廿九日
改白

種子 仏カ 地藏菩薩

年号 応永18年 1411 室町初期

偈 観無量壽經

その他

H : 130cm W : 31cm T : 6cm

No.38



種子 キリーク 阿弥陀如来

年号

備

その他 断碑の上部 蓮華紋様壯龕

H : 51cm W : 37cm T : 3cm

No.40



種子 カ 地藏菩薩

年号

備

その他 銘記なし

H : 94cm W : 29cm T : 4cm

No.39



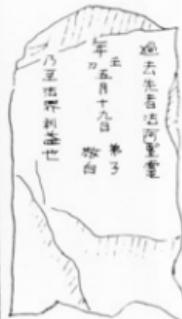
種子 カ 地藏菩薩

年号

備

その他 断碑の上部

H : 44cm W : 24cm T : 2cm



種子

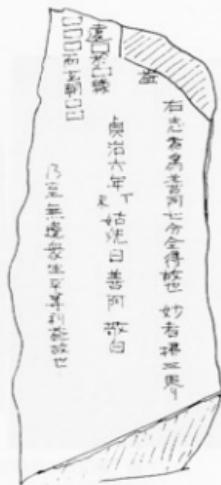
年号 生寅年は応永20年か?

備

その他 断碑の下部

H : 67cm W : 37cm T : 4cm

No.42



種子

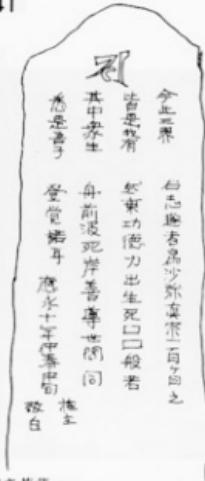
年号 貞治6年 1367 南北朝中期

偶

その他 断碑の下部 善阿造立の逆修碑 姑洗(3月)

H: 140cm W: 37cm T: 6cm

No.41



種子

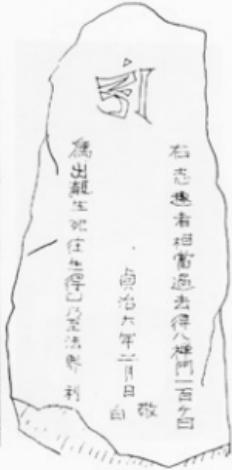
年号 応永10年 1403 室町初期

偶

その他 仲春(2月)

H: 140cm W: 37cm T: 7cm

No.44



種子

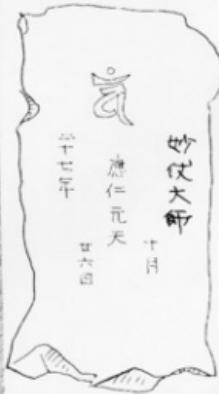
年号 貞治6年 1367 南北朝中期

偶

その他 断碑の上部 No.65と一对になる

H: 97cm W: 36cm T: 7cm

No.43



種子

年号 応仁元年 1467 室町中期

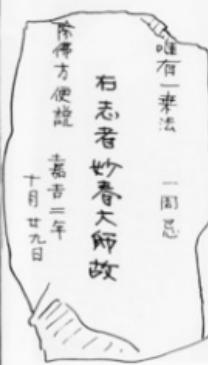
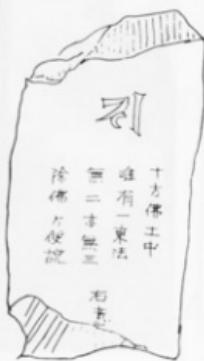
偶

その他 金箔で文字を施飾

H: 73cm W: 30cm T: 5cm

No.46

No.45



種子 バサ 観音菩薩

年号 嘉吉 2 年 1388

偽 法華經方便品

その他 断碑の上部

H : 50cm W : 29cm T : 5cm

No.48

種子

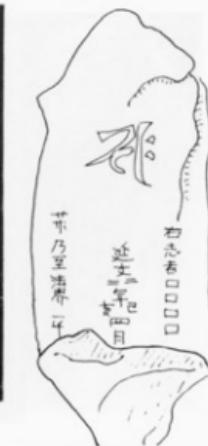
年号 嘉吉 2 年 1388 南北朝末期

偽 法華經方便品

その他 断碑の下部

H : 42cm W : 24cm T : 3cm

No.47



種子 バカ 地藏菩薩

年号 永徳 南北朝末期

偽

その他 断碑の上部

H : 42cm W : 25cm T : 3cm

種子 バサク 勢至菩薩

年号 延文 4 年 1359 南北朝中期

偽

その他 一二年(4年) 莲(菩提)

H : 85cm W : 30cm T : 4cm

種子 **ア** 胎藏界大日如來

年号

偶

その他 断碑の上部

H : 42cm W : 33cm T : 3cm

種子 **カ** 地藏菩薩

年号

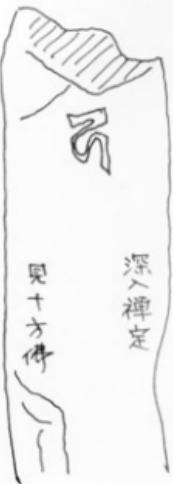
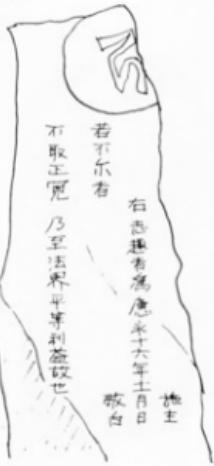
偶 菩薩經

その他 断碑の上部

H : 44cm W : 23cm T : 3cm

No.52

No.51

種子 **カ** 地藏菩薩

年号 応永16年 1409 室町初期

偶 観無量壽經

その他 断碑

H : 118cm W : 34cm T : 7cm

種子 **カ** 地藏菩薩

年号

偶 法華經

その他 金箔文字にて巻飾

H : 80cm W : 18cm T : 8cm

No.54



種子

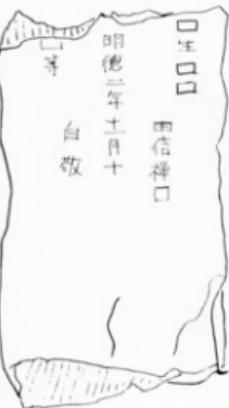
年号

偶 涅槃經

その他 断碑の中部

H : 46cm W : 28cm T : 3cm

No.53



種子

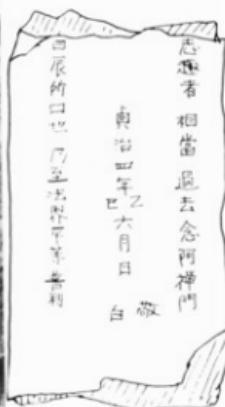
年号 明徳 2 年 1391 南北朝末期

偶

その他 断碑の下部

H : 41cm W : 28cm T : 3cm

No.56



種子

年号 貞治 4 年 1365 南北朝中期

偶

その他 断碑の下部

H : 50cm W : 25cm T : 5cm

No.55

種子 **カ** 地藏菩薩

年号

偶

その他 断碑の上部

H : 40cm W : 26cm T : 3cm

No.58



種子 不バク 般迦如来

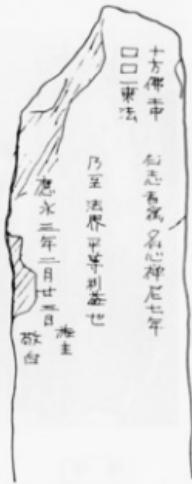
年号

偶

その他 断碑上右部

H : 45cm W : 20cm T : 3cm

No.57



乃至法界平等利益せ

慶永三年二月廿一日
故主十方佛中
東法

利志名心神尼七年

種子

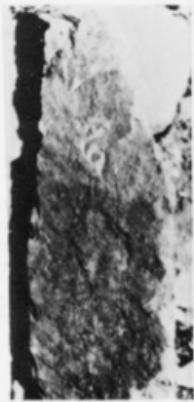
応永3年 1396 室町初期

偶 法華經方便品

その他

H : 120cm W : 28cm T : 9cm

No.60



種子 不カ 地藏菩薩

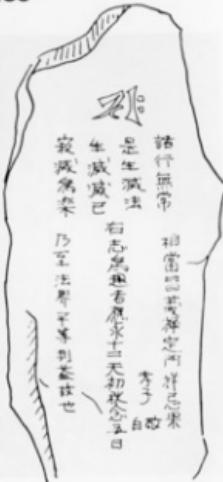
年号 永喜4年

偶

その他 妙口禪尼の逆修碑二二年(4年)

H : 70cm W : 21cm T : 4cm

No.59

諸行無事
是生滅法
生滅滅已右志鳥越者慶永十三天初秋次念五日
乃至法界平等利益せ

相

當

時

定

門

佛

宗

日

種子 不サク 勢至菩薩

年号 応永12年 1405 室町初期

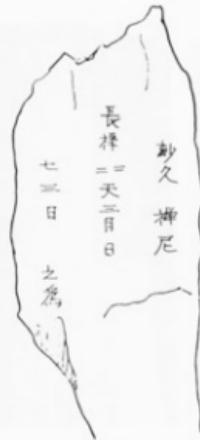
偶 涅槃經

その他 昌義禪定門の一開忌の碑 念五日(25日)
文字は金箔で敷飾

H : 96cm W : 40cm T : 3cm

No.62

No.61



種子

年号 長禄4年 1460(寛正元年) 室町中期

傷

その他 一二天(4年)

H: 85cm W: 27cm T: 7cm



種子

年号

傷

その他 断碑の下部

H: 53cm W: 26cm T: 3cm

No.64

No.63



種子

年号

傷

その他 断碑の下部

H: 54cm W: 27cm T: 8cm



種子 言パン 大日如来

年号

傷

その他 磨滅甚だしく解説不能

H: 77cm W: 21cm T: 7cm

No.66

No.65



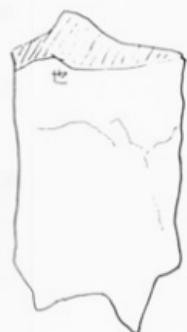
種子

年号

偶

その他 断碑片

H : 44cm W : 17cm T : 2cm



種子

年号

偶

その他 断碑の下部 Na44と一对となる

H : 72cm W : 34cm T : 5cm

No.68

No.67



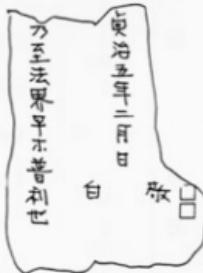
種子 ピサク 勢至菩薩

年号

偶 法華經方便品

その他 断碑

H : 43cm W : 28cm T : 6cm



種子

年号 貞治5年 1366 南北朝中期

偶

その他 断碑

H : 55cm W : 56cm T : 4cm

表
1

有紀年板碑の通番 (No.) 一覧表

年号	年	通番 No.	年号	年	通番 No.
延文	4 (1359)	4 7	応永	8	2
	6	2 4		8	1 6
貞治	4 (1365)	2 5		1 0	4 1
	4	2 7		1 2	5 9
	4	5 6		1 6	5 2
	5	2 2		1 8	3 5
	5	6 7		2 2	1
	6	2 3		3 3	3
	6	3 3		3 3	2 8
	6	4 2		3 3	2 8
	6	4 4		不 明	3 6
康暦	不 明	2 1	正長	2 (1428)	9
	2 (1380)	2 6	永享	2 (1430)	1 2
	3	3 1		2	1 3
永徳	3 (1383)	2 9		3	1 4
	4	6 0		3	3 0
嘉慶	不 明	4 8		5	1 0
	3 (1387)	1 7	嘉吉	2 (1442)	4 5
康応	2 (1390)	7	長祿	4 (1460)	6 2
	2	1 1	寛正	3 (1462)	8
	2	1 5	応仁	1 (1467)	6
明徳	2 (1391)	5 3		1	4 3
応永	3 (1396)	5 7	計		45基
	7	4			

表
2

有紀年板碑年代別分布数		
年号	数	
延文 (1356)	2	南北朝 (中)
貞治	10	
康曆	2	
永徳	3	
嘉慶	1	
康応	3	(末)
明徳 (1390)	1	
応永	12	室町 (初)
正長	1	
永享	5	
嘉吉	1	
長祿	1	
寛正	1	
応仁 (1467)	2	
計	45	

ま
と
め

一、総数六十八基、出土した碑すべてについて精査した。但し、碑として完全なる形を保つものがほぼ半数で、三割程度が断碑となる。これ

は発掘時の機械作業による影響である。

個々の断碑に対する接合複元作業は数基について行つただけで完全には実施していない。

二、石材は数基に花崗岩が使われたが、その殆どが稲井石（砂質粘板岩）が使われ、高さも一四〇厘米（No. 26）が最高で、他は殆ど一米前後の
自然石の形のものである。

紀年銘の明らかなものは四十五基である。有紀年板碑の通番（No.）を年代順にまとめたのが表1の「有紀年板碑の年号順通番（No.）一覧表」であるし、その造立分布をまとめたのが表2の「有紀年板碑年代別分布表」である。この表で判るように、その年代は延文（南北朝中期）を上限に、応仁（室町中期）を下限におく約百年間（一三六〇頃より一四六〇頃。今から約六〇〇年～五〇〇年前）にわたる宗教的所産である。

前にも述べたが、上品山系の石巻市稻井、河北町一俣、福地には板碑が密度濃く分布するが、その造立年代は鎌倉末期から南北朝期にかけてである。

四、銘文の彫刻は書体も彫りも明らかにプロの手になるものが多い。記銘には金箔を施し、壯麗に嚴飾したものが十基にも及ぶ。但し、紋様としては蓮座は数基に認められるだけで、天蓋・理珞の彫られたのは一基もない。

五、当地の板碑には願文・偈の文字数が格別に多く、念入りに造立目的を記している。

十一傳
卷之三

当地の碑ではほほその定法を踏み、年忌と種子が合致している。

七、その殆どが死者供養碑（順修）である。その中に、応永二十二年の聖妙禪尼十七回忌（No.1）と永享三年の同禪尼三十三回忌（No.14）の二つの碑、それから応永三十三年昌儀禪門十三回忌（No.3）と永享二年同禪門十七回忌（No.13）の二つの碑がそれぞれ発見できる。年忌と当たり年号が全く符合する。おそらく昌儀禪門と聖妙禪尼は夫婦であろうか。ともあれ、施主（縁者）による供養が継続した例でその過程が知り得て興味深い。

八、逆修碑と考えられる碑（七分全得の願文のものも含む）として七基発見された。中でも「善阿」が自身のために建てた貞治六年の碑（No.42）は珍重である。

※注 逆修…………生前自己のために仏事をおさめ冥福を祈ること。

九、偈としては、法華經方便品・同譬論品・同如來神力品など法華經より採った句が格別に多い。特に南北朝時代のものには法華經の偈句を主に、頤文に禪師・遺弟・比丘・弟子・などの文字が見え、題目・名号などの碑は一基も発見できない側面から推して、この地は天台宗の基地となつた所と考えられる。おそらく 寺院関係の建物もあつたのであろう。しかし、室町期に入ると偈文に觀無量寿經・涅槃經・金剛般若經などが見られ、特定の宗派の祭祀地とは断定できなくなる。むしろ、在地豪族中心のフリースタイルの宗勢の場の様相が見られる。

※注 偈（げ）…………仏の功德、法の道理をたたえ述べる詩句。

十、私年号と思われるものとしてNo.19「福壽元天」が挙げられる。「福壽」は初見の年号である。今後の課題として注目したい。

※注 私年号…………朝廷で定めた公の年号でなく民間で私に立てた年号。

付 記

本書再版に当たり、勝倉元吉郎氏（石巻石仏研究会々長）の御協力をいただいた。



No.19の碑 拓本

福壽元天（年）の文字が見える。

報告者 紫桃正隆

（宮城県河北地区文化財保護委員長）

板碑群調査報告

昭和 57 年 8 月 25 日 印刷

昭和 57 年 8 月 31 日 発行

発 行 桃生郡河北地区教育委員会

(宮城県桃生郡河北町相野谷字旧会所前29の1)

編集者 紫 桃 正 隆

(桃生郡河北地区文化財保護委員長)

印 刷 株式会社 松 弘 堂

石巻市門脇字本草園 2-16

☎ 0225-065555(代表)

再版発行 昭和 63 年 9 月

印 刷 (有)明正社印刷所

桃生郡河北町相野谷字旧屋敷 183

☎ 0225-62-3011